

問 12 70歳になったらバス運賃助成事業の割引証を申請されるかについて、1つだけ選んで数字に○をつけてください。

【回答対象：グループ3】

④グループ3（65歳以上70歳未満）

選択肢	件数	割合
申請する	160	54.6%
どちらかと言えば申請する	42	14.3%
どちらとも言えない	44	15.0%
どちらかと言えば申請しない	15	5.1%
申請しない	21	7.2%
未回答	11	3.8%
計	293	100.0%

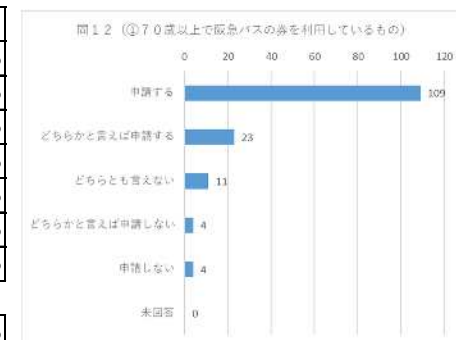
有効回答率 96.2%



⑤参考：一般回答者（無作為抽出者以外）

選択肢	件数	割合
申請する	109	71.7%
どちらかと言えば申請する	23	15.1%
どちらとも言えない	11	7.2%
どちらかと言えば申請しない	4	2.6%
申請しない	4	2.6%
未回答	0	0.0%
計	152	100.0%

有効回答率 99.3%



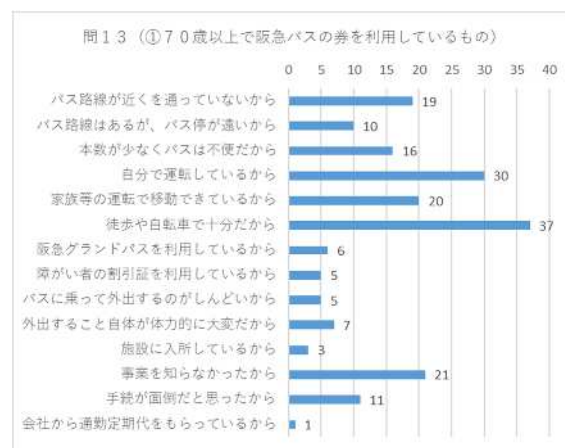
(※回答者数 152 人：⑤参考：一般回答者（無作為抽出者以外）の 573 人中、グループ3と同じ条件の方)

問 13 あなたが割引証を申請しない理由について、当てはまる数字すべてに○をつけてください。

【回答対象：グループ2・3】

③グループ2（70歳以上・バス運賃助成事業未利用者）

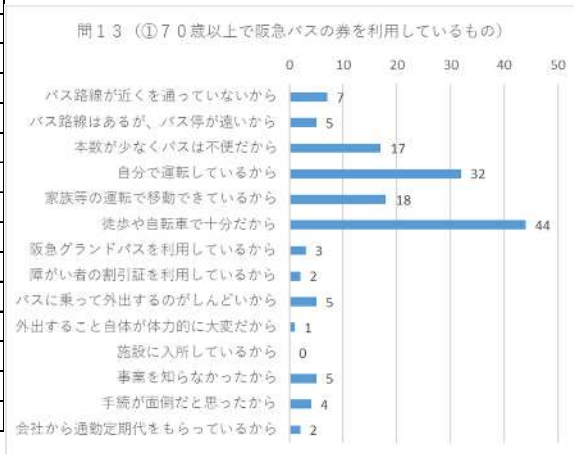
選択肢	件数	割合
バス路線が近くを通過していないから	19	16.1%
バス路線はあるが、バス停が遠いから	10	8.5%
本数が少なくバスは不便だから	16	13.6%
自分で運転しているから	30	25.4%
家族等の運転で移動できているから	20	16.9%
徒歩や自転車で十分だから	37	31.4%
阪急グランドバスを利用しているから	6	5.1%
障がい者の割引証を利用しているから	5	4.2%
バスに乗って外出するのがしんどいから	5	4.2%
外出すること自体が体力的に大変だから	7	5.9%
施設に入所しているから	3	2.5%
事業を知らなかったから	21	17.8%
手続が面倒だと思ったから	11	9.3%
会社から通勤定期代をもらっているから	1	0.8%
回答者数	118	



(※回答者数 118 人：③グループ2の 168 人中、問 10 で「どちらも所有していない」と回答された方)

④グループ3（65歳以上 70歳未満）

選択肢	件数	割合
バス路線が近くを通過していないから	7	8.8%
バス路線はあるが、バス停が遠いから	5	6.3%
本数が少なくバスは不便だから	17	21.3%
自分で運転しているから	32	40.0%
家族等の運転で移動できているから	18	22.5%
徒歩や自転車で十分だから	44	55.0%
阪急グランドバスを利用しているから	3	3.8%
障がい者の割引証を利用しているから	2	2.5%
バスに乗って外出するのがしんどいから	5	6.3%
外出すること自体が体力的に大変だから	1	1.3%
施設に入所しているから	0	0.0%
事業を知らなかったから	5	6.3%
手続が面倒だと思ったから	4	5.0%
会社から通勤定期代をもらっているから	2	2.5%
回答者数	80	



(※回答者数 80 人：④グループ3の 293 人中、問 12 で「どちらとも言えない」、「どちらかと言えば申請しない」、「申請しない」と回答された方)

⑤参考：一般回答者（無作為抽出者以外）

選択肢	件数	割合
バス路線が近くを通っていないから	13	14.8%
バス路線はあるが、バス停が遠いから	8	9.1%
本数が少なくバスは不便だから	14	15.9%
自分で運転しているから	31	35.2%
家族等の運転で移動できているから	8	9.1%
徒歩や自転車で十分だから	41	46.6%
阪急グランドバスを利用しているから	7	8.0%
障がい者の割引証を利用しているから	4	4.5%
バスに乗って外出するのがしんどいから	5	5.7%
外出すること自体が体力的に大変だから	4	4.5%
施設に入所しているから	1	1.1%
事業を知らなかったから	7	8.0%
手続が面倒だと思ったから	8	9.1%
会社から通勤定期代をもらっているから	2	2.3%
回答者数	88	



(※回答者数 89 人：下記 A または B に該当する方)

⑤参考：一般回答者（無作為抽出者以外）の 573 人中、

A：問 1 で「65 歳～69 歳」以外を回答され、問 10 で「どちらも所有していない」と回答された方

B：問 1 で「65 歳～69 歳」と回答され、問 12 で「どちらとも言えない」、「どちらかと言えば申請しない」、「申請しない」と回答された方

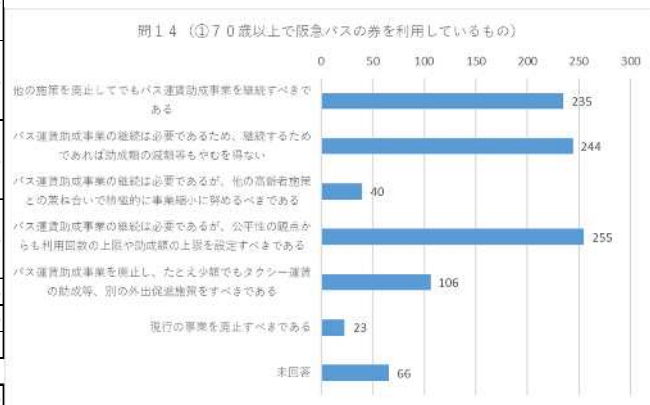
問 14 バス運賃助成事業そのものについて、1つだけ選んで数字に○をつけてください。

【回答対象：全体】

①無作為抽出者全体

選択肢	件数	割合
他の施策を廃止してでもバス運賃助成事業を継続すべきである	235	24.3%
バス運賃助成事業の継続は必要であるため、継続するためであれば助成額の減額等もやむを得ない	244	25.2%
バス運賃助成事業の継続は必要であるが、他の高齢者施策との兼ね合いで積極的に事業縮小に努めるべきである	40	4.1%
バス運賃助成事業の継続は必要であるが、公平性の観点からも利用回数の上限や助成額の上限を設定すべきである	255	26.3%
バス運賃助成事業を廃止し、たとえ少額でもタクシー運賃の助成等、別の外出促進施策をすべきである	106	10.9%
現行の事業を廃止すべきである	23	2.4%
未回答	66	6.8%
計	969	100.0%

有効回答率 93.2%

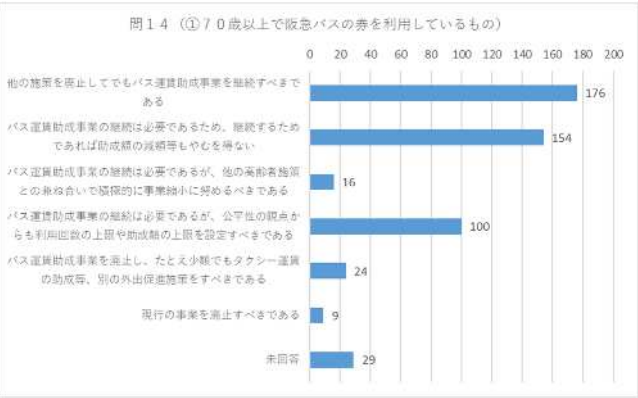


問3「お住まいの地区」 とのクロス集計結果	1. 奥池 地区	2. 山手小 学校区 (奥池地 区除く)	3. 岩園小 学校区	4. 朝日ヶ 丘小学校 区	5. 精道小 学校区	6. 宮川小 学校区	7. 打出浜 小学校区	8. 浜風小 学校区	9. 潮見小 学校区 (南芦屋 浜地区除 く)	10. 南芦 屋浜地区	合計
他の施策を廃止してでもバス運賃助成事業 を継続すべきである	6 (40.0%)	32 (19.4%)	24 (19.8%)	31 (30.1%)	21 (17.5%)	14 (16.3%)	18 (19.1%)	36 (32.4%)	42 (39.3%)	11 (23.4%)	235 (24.3%)
バス運賃助成事業の継続は必要であるた め、継続するためであれば助成額の減額等 もやむを得ない	4 (26.7%)	32 (19.4%)	31 (25.6%)	33 (32.0%)	28 (23.3%)	16 (18.6%)	24 (25.5%)	28 (25.2%)	32 (29.9%)	16 (34.0%)	244 (25.2%)
バス運賃助成事業の継続は必要であるが、 他の高齢者施策との兼ね合いで積極的に事 業縮小に努めるべきである	0 (0.0%)	9 (5.5%)	4 (3.3%)	3 (2.9%)	6 (5.0%)	7 (8.1%)	3 (3.2%)	4 (3.6%)	3 (2.8%)	1 (2.1%)	40 (4.1%)
バス運賃助成事業の継続は必要であるが、 公平性の観点からも利用回数の上限や助成 額の上限を設定すべきである	3 (20.0%)	53 (32.1%)	36 (29.8%)	23 (22.3%)	31 (25.8%)	24 (27.9%)	24 (25.5%)	30 (27.0%)	20 (18.7%)	11 (23.4%)	255 (26.3%)
バス運賃助成事業を廃止し、たとえ少額でも タクシー運賃の助成等、別の外出促進施策 をすべきである	0 (0.0%)	27 (16.4%)	17 (14.0%)	5 (4.9%)	22 (18.3%)	15 (17.4%)	11 (11.7%)	2 (1.8%)	3 (2.8%)	4 (8.5%)	106 (10.9%)
現行の事業を廃止すべきである	0 (0.0%)	4 (2.4%)	2 (1.7%)	1 (1.0%)	6 (5.0%)	4 (4.7%)	1 (1.1%)	2 (1.8%)	2 (1.9%)	1 (2.1%)	23 (2.4%)
未回答	2 (13.3%)	8 (4.8%)	7 (5.8%)	7 (6.8%)	6 (5.0%)	6 (7.0%)	13 (13.8%)	9 (8.1%)	5 (4.7%)	3 (6.4%)	66 (6.8%)
地区別 計	15	165	121	103	120	86	94	111	107	47	969

問8「バス利用回数」 とのクロス集計結果	月31回 以上(月1 5日以上)	月26～3 0回(月1 3～15 日)程度	月21～2 5回(月1 1～12 日)程度	月15～2 0回(月8 ～10日) 程度	月10～1 4回(月5 ～7日)程 度	月5～9回 (月3、4 日)程度	月1～4回 (月1、2 日)程度	年数回程 度	バスに乗 らない	未回答	合計
他の施策を廃止してでもバス運賃助成事業 を継続すべきである	28 (42.4%)	9 (28.1%)	23 (56.1%)	39 (43.8%)	29 (27.9%)	27 (23.5%)	49 (27.2%)	20 (12.2%)	11 (7.1%)	0 (0.0%)	235 (24.3%)
バス運賃助成事業の継続は必要であるた め、継続するためであれば助成額の減額等 もやむを得ない	21 (31.8%)	10 (31.3%)	14 (34.1%)	27 (30.3%)	37 (35.6%)	34 (29.6%)	43 (23.9%)	33 (20.1%)	22 (14.2%)	3 (13.0%)	244 (25.2%)
バス運賃助成事業の継続は必要であるが、 他の高齢者施策との兼ね合いで積極的に事 業縮小に努めるべきである	2 (3.0%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	3 (3.4%)	4 (3.8%)	1 (0.9%)	6 (3.3%)	11 (6.7%)	12 (7.7%)	0 (0.0%)	40 (4.1%)
バス運賃助成事業の継続は必要であるが、 公平性の観点からも利用回数の上限や助成 額の上限を設定すべきである	10 (15.2%)	8 (25.0%)	4 (9.8%)	14 (15.7%)	26 (25.0%)	35 (30.4%)	55 (30.6%)	55 (33.5%)	46 (29.7%)	2 (8.7%)	255 (26.3%)
バス運賃助成事業を廃止し、たとえ少額でも タクシー運賃の助成等、別の外出促進施策 をすべきである	0 (0.0%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	5 (4.8%)	6 (5.2%)	15 (8.3%)	31 (18.9%)	45 (29.0%)	2 (8.7%)	106 (10.9%)
現行の事業を廃止すべきである	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (4.3%)	2 (1.1%)	7 (4.3%)	9 (5.8%)	0 (0.0%)	23 (2.4%)
未回答	5 (7.6%)	3 (9.4%)	0 (0.0%)	5 (5.6%)	3 (2.9%)	7 (6.1%)	10 (5.6%)	7 (4.3%)	10 (6.5%)	16 (69.6%)	66 (6.8%)
乗車回数別 計	66	32	41	89	104	115	180	164	155	23	969

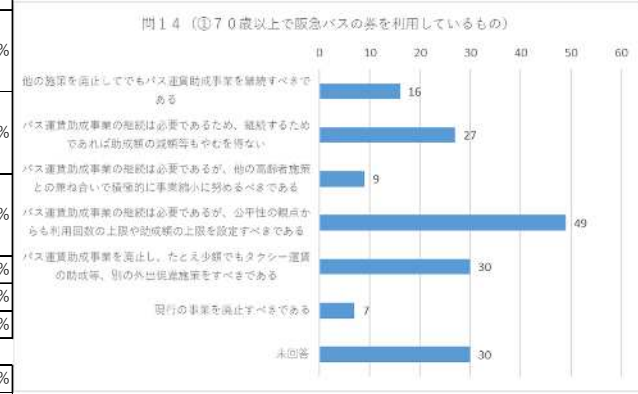
②グループ1（70歳以上・バス運賃助成事業利用者）

選択肢	件数	割合
他の施策を廃止してもバス運賃助成事業を継続すべきである	176	34.6%
バス運賃助成事業の継続は必要であるため、継続するためであれば助成額の減額等もやむを得ない	154	30.3%
バス運賃助成事業の継続は必要であるが、他の高齢者施策との兼ね合いで積極的に事業縮小に努めるべきである	16	3.1%
バス運賃助成事業の継続は必要であるが、公平性の観点からも利用回数の上限や助成額の上限を設定すべきである	100	19.7%
バス運賃助成事業を廃止し、たとえ少額でもタクシー運賃の助成等、別の外出促進施策をすべきである	24	4.7%
現行の事業を廃止すべきである	9	1.8%
未回答	29	5.7%
計	508	100.0%
有効回答率		94.3%



③グループ2（70歳以上・バス運賃助成事業未利用者）

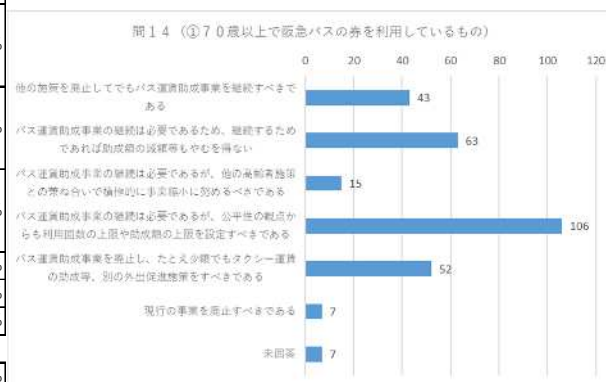
選択肢	件数	割合
他の施策を廃止してもバス運賃助成事業を継続すべきである	16	9.5%
バス運賃助成事業の継続は必要であるため、継続するためであれば助成額の減額等もやむを得ない	27	16.1%
バス運賃助成事業の継続は必要であるが、他の高齢者施策との兼ね合いで積極的に事業縮小に努めるべきである	9	5.4%
バス運賃助成事業の継続は必要であるが、公平性の観点からも利用回数の上限や助成額の上限を設定すべきである	49	29.2%
バス運賃助成事業を廃止し、たとえ少額でもタクシー運賃の助成等、別の外出促進施策をすべきである	30	17.9%
現行の事業を廃止すべきである	7	4.2%
未回答	30	17.9%
計	168	100.0%
有効回答率		82.1%



④グループ3（65歳以上70歳未満）

選択肢	件数	割合
他の施策を廃止してでもバス運賃助成事業を継続すべきである	43	14.7%
バス運賃助成事業の継続は必要であるため、継続するためであれば助成額の減額等もやむを得ない	63	21.5%
バス運賃助成事業の継続は必要であるが、他の高齢者施策との兼ね合いで積極的に事業縮小に努めるべきである	15	5.1%
バス運賃助成事業の継続は必要であるが、公平性の観点からも利用回数の上限や助成額の上限を設定すべきである	106	36.2%
バス運賃助成事業を廃止し、たとえ少額でもタクシー運賃の助成等、別の外出促進施策をすべきである	52	17.7%
現行の事業を廃止すべきである	7	2.4%
未回答	7	2.4%
計	293	100.0%

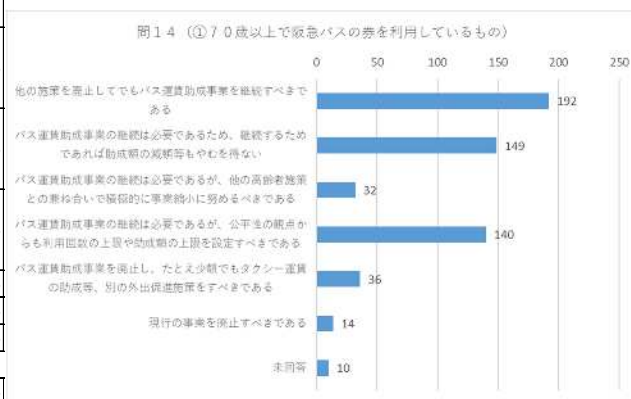
有効回答率 97.6%



⑤参考：一般回答者（無作為抽出者以外）

選択肢	件数	割合
他の施策を廃止してでもバス運賃助成事業を継続すべきである	192	33.5%
バス運賃助成事業の継続は必要であるため、継続するためであれば助成額の減額等もやむを得ない	149	26.0%
バス運賃助成事業の継続は必要であるが、他の高齢者施策との兼ね合いで積極的に事業縮小に努めるべきである	32	5.6%
バス運賃助成事業の継続は必要であるが、公平性の観点からも利用回数の上限や助成額の上限を設定すべきである	140	24.4%
バス運賃助成事業を廃止し、たとえ少額でもタクシー運賃の助成等、別の外出促進施策をすべきである	36	6.3%
現行の事業を廃止すべきである	14	2.4%
未回答	10	1.7%
計	573	100.0%

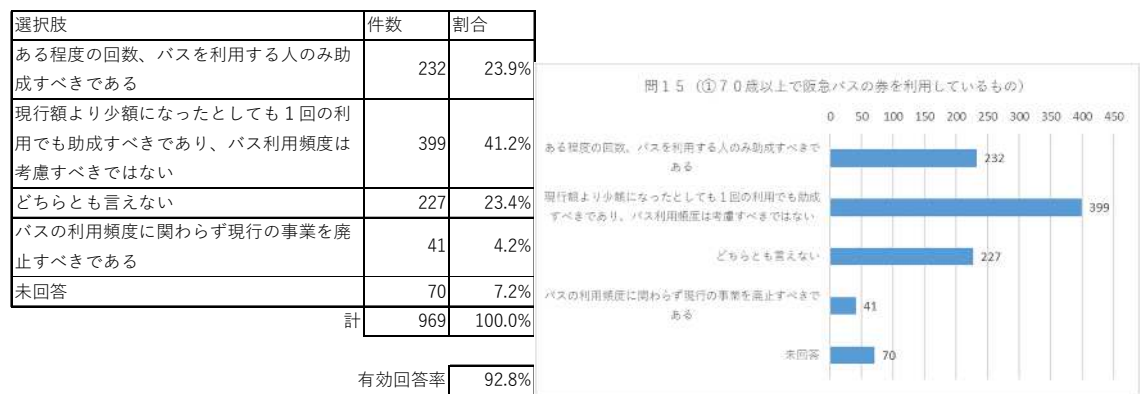
有効回答率 98.3%



問 15 外出促進による介護予防の観点から、助成する考え方にバス利用頻度を考慮すべきかについて、1つだけ選んで数字に○をつけてください。

【回答対象：全体】

①無作為抽出者全体

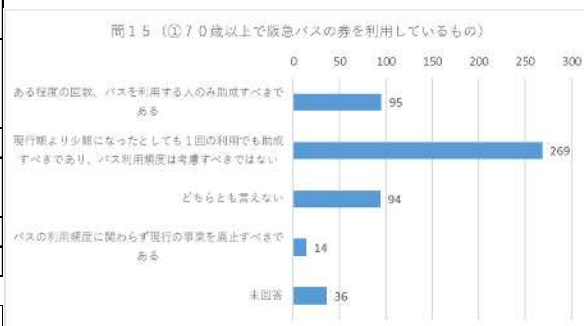


問3「お住まいの地区」 とのクロス集計結果	1. 奥池 地区	2. 山手小 学校区 (奥池地 区除く)	3. 岩園小 学校区	4. 朝日ヶ 丘小学校 区	5. 精道小 学校区	6. 宮川小 学校区	7. 打出浜 小学校区	8. 浜風小 学校区	9. 潮見小 学校区 (南芦屋 浜地区除 く)	10. 南芦 屋浜地区	合計
ある程度の回数、バスを利用する人のみ助成すべきである	4 (26.7%)	51 (30.9%)	26 (21.5%)	24 (23.3%)	26 (21.7%)	23 (26.7%)	18 (19.1%)	22 (19.8%)	26 (24.3%)	12 (25.5%)	232 (23.9%)
現行額より少額になったとしても1回の利用でも助成すべきであり、バス利用頻度は考慮すべきではない	8 (53.3%)	45 (27.3%)	42 (34.7%)	47 (45.6%)	51 (42.5%)	31 (36.0%)	36 (38.3%)	57 (51.4%)	60 (56.1%)	22 (46.8%)	399 (41.2%)
どちらとも言えない	3 (20.0%)	49 (29.7%)	33 (27.3%)	21 (20.4%)	27 (22.5%)	20 (23.3%)	29 (30.9%)	24 (21.6%)	14 (13.1%)	7 (14.9%)	227 (23.4%)
バスの利用頻度に関わらず現行の事業を廃止すべきである	0 (0.0%)	11 (6.7%)	6 (5.0%)	3 (2.9%)	10 (8.3%)	5 (5.8%)	2 (2.1%)	2 (1.8%)	1 (0.9%)	1 (2.1%)	41 (4.2%)
未回答	0 (0.0%)	9 (5.5%)	14 (11.6%)	8 (7.8%)	6 (5.0%)	7 (8.1%)	9 (9.6%)	6 (5.4%)	6 (5.6%)	5 (10.6%)	70 (7.2%)
地区別 計	15	165	121	103	120	86	94	111	107	47	969

問8「バス利用回数」 とのクロス集計結果	月31回 以上(月1 5日以上)	月26～3 0回(月1 3～15 日)程度	月21～2 5回(月1 1～12 日)程度	月15～2 0回(月8 ～10日) 程度	月10～1 4回(月5 ～7日)程 度	月5～9回 (月3、4 日)程度	月1～4回 (月1、2 日)程度	年数回程 度	バスに乗 らない	未回答	合計
ある程度の回数、バスを利用する人のみ助成すべきである	25 (37.9%)	11 (34.4%)	10 (24.4%)	28 (31.5%)	18 (17.3%)	24 (20.9%)	38 (21.1%)	34 (20.7%)	37 (23.9%)	7 (30.4%)	232 (23.9%)
現行額より少額になったとしても1回の利用でも助成すべきであり、バス利用頻度は考慮すべきではない	25 (37.9%)	10 (31.3%)	26 (63.4%)	43 (48.3%)	57 (54.8%)	63 (54.8%)	85 (47.2%)	51 (31.1%)	33 (21.3%)	6 (26.1%)	399 (41.2%)
どちらとも言えない	9 (13.6%)	10 (31.3%)	2 (4.9%)	11 (12.4%)	24 (23.1%)	16 (13.9%)	41 (22.8%)	56 (34.1%)	52 (33.5%)	6 (26.1%)	227 (23.4%)
バスの利用頻度に関わらず現行の事業を廃止すべきである	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)	4 (3.5%)	5 (2.8%)	12 (7.3%)	19 (12.3%)	0 (0.0%)	41 (4.2%)
未回答	7 (10.6%)	1 (3.1%)	3 (7.3%)	7 (7.9%)	4 (3.8%)	8 (7.0%)	11 (6.1%)	11 (6.7%)	14 (9.0%)	4 (17.4%)	70 (7.2%)
乗車回数別 計	66	32	41	89	104	115	180	164	155	23	969

②グループ1（70歳以上・バス運賃助成事業利用者）

選択肢	件数	割合
ある程度の回数、バスを利用する人のみ助成すべきである	95	18.7%
現行額より少額になったとしても1回の利用でも助成すべきであり、バス利用頻度は考慮すべきではない	269	53.0%
どちらとも言えない	94	18.5%
バスの利用頻度に関わらず現行の事業を廃止すべきである	14	2.8%
未回答	36	7.1%
計	508	100.0%
有効回答率	92.9%	



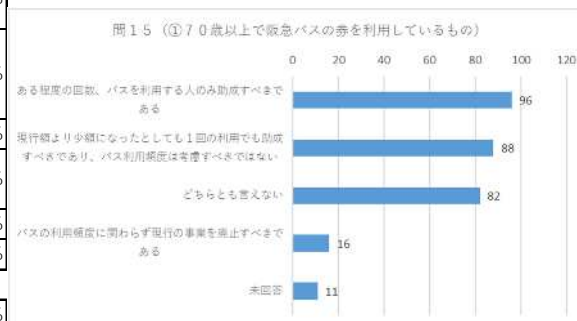
③グループ2（70歳以上・バス運賃助成事業未利用者）

選択肢	件数	割合
ある程度の回数、バスを利用する人のみ助成すべきである	41	24.4%
現行額より少額になったとしても1回の利用でも助成すべきであり、バス利用頻度は考慮すべきではない	42	25.0%
どちらとも言えない	51	30.4%
バスの利用頻度に関わらず現行の事業を廃止すべきである	11	6.5%
未回答	23	13.7%
計	168	100.0%
有効回答率	86.3%	



④グループ3（65歳以上70歳未満）

選択肢	件数	割合
ある程度の回数、バスを利用する人のみ助成すべきである	96	32.8%
現行額より少額になったとしても1回の利用でも助成すべきであり、バス利用頻度は考慮すべきではない	88	30.0%
どちらとも言えない	82	28.0%
バスの利用頻度に関わらず現行の事業を廃止すべきである	16	5.5%
未回答	11	3.8%
計	293	100.0%
有効回答率		96.2%



⑤参考：一般回答者（無作為抽出者以外）

選択肢	件数	割合
ある程度の回数、バスを利用する人のみ助成すべきである	139	24.3%
現行額より少額になったとしても1回の利用でも助成すべきであり、バス利用頻度は考慮すべきではない	263	45.9%
どちらとも言えない	124	21.6%
バスの利用頻度に関わらず現行の事業を廃止すべきである	22	3.8%
未回答	25	4.4%
計	573	100.0%
有効回答率		95.6%

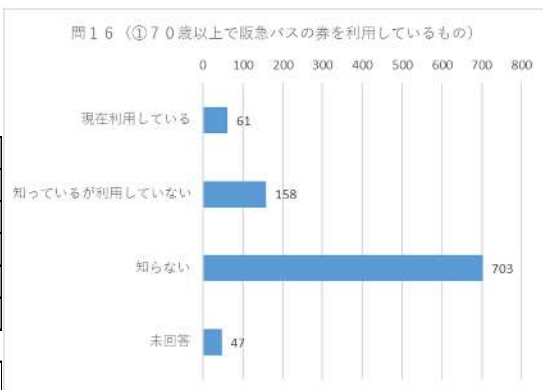


問 16 阪急グランドパスについて、1つだけ選んで数字に○をつけてください。

【回答対象：全体】

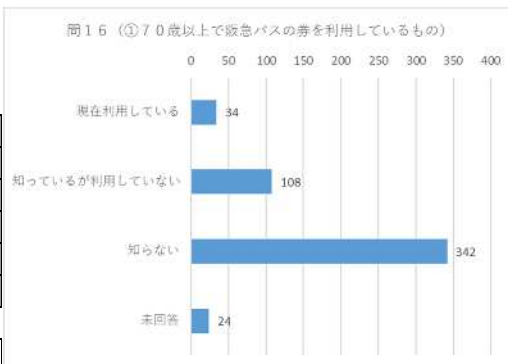
①無作為抽出者全体

選択肢	件数	割合
現在利用している	61	6.3%
知っているが利用していない	158	16.3%
知らない	703	72.5%
未回答	47	4.9%
計	969	100.0%
有効回答率		95.1%



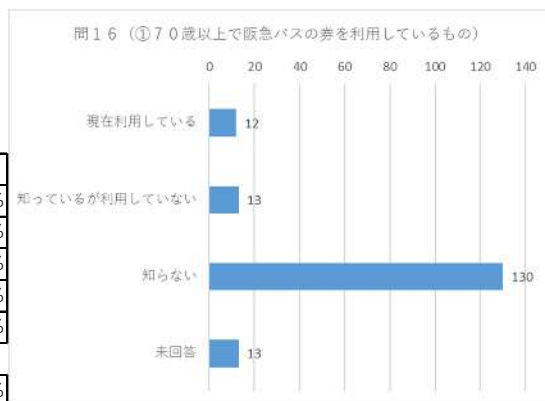
②グループ1（70歳以上・バス運賃助成事業利用者）

選択肢	件数	割合
現在利用している	34	6.7%
知っているが利用していない	108	21.3%
知らない	342	67.3%
未回答	24	4.7%
計	508	100.0%
有効回答率		95.3%



③グループ2（70歳以上・バス運賃助成事業未利用者）

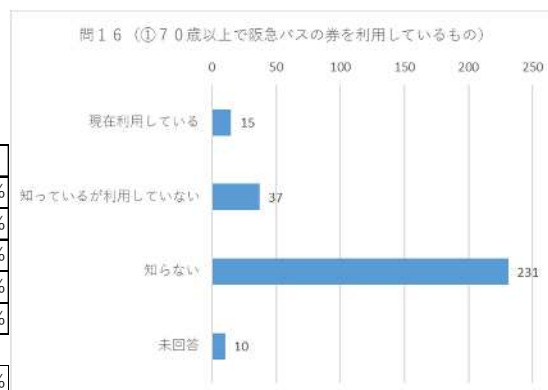
選択肢	件数	割合
現在利用している	12	7.1%
知っているが利用していない	13	7.7%
知らない	130	77.4%
未回答	13	7.7%
計	168	100.0%
有効回答率		92.3%



④グループ3（65歳以上70歳未満）

選択肢	件数	割合
現在利用している	15	5.1%
知っているが利用していない	37	12.6%
知らない	231	78.8%
未回答	10	3.4%
計	293	100.0%

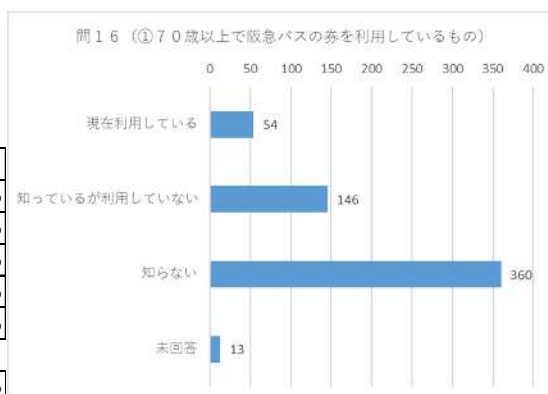
有効回答率 96.6%



⑤参考：一般回答者（無作為抽出者以外）

選択肢	件数	割合
現在利用している	54	9.4%
知っているが利用していない	146	25.5%
知らない	360	62.8%
未回答	13	2.3%
計	573	100.0%

有効回答率 97.7%



問 17 阪急グランドパス購入代金の助成をした場合、今よりあなた自身が外出する回数が増加するかについて、1つだけ選んで数字に○をつけてください。

【回答対象：全体】

①無作為抽出者全体

選択肢	件数	割合
増える	62	6.4%
どちらかと言えば増える	74	7.6%
増えるまでは言えないが、以前の外出回数を維持できると思う	101	10.4%
バスにそこまで乗らないので、外出頻度に影響はない	438	45.2%
どちらともいえない	208	21.5%
既にグランドパスを所有している	23	2.4%
未回答	63	6.5%
計	969	100.0%
有効回答率	93.5%	

